

CLT建築物の温湿度長期測定

【目的】

木材は湿度に対してバッファーと考えられるが、CLT非住宅建築物の実測データは少ない。本件では、CLT建築物で年間を通して継続的に温湿度計測を行い、その調湿性能を検証し、木造CLT建築物および、内装木質化による温湿度データ蓄積を目的とする。

【計測概要】

・計測期間

2018年4月～継続中

・測定対象建物

ナイス(株)仙台物流センター事務所棟 (宮城県多賀城市、2017年3月竣工)

木造(CLT)+鉄筋コンクリートの混構造。
事務所部分の内装はCLTが現しになっている。

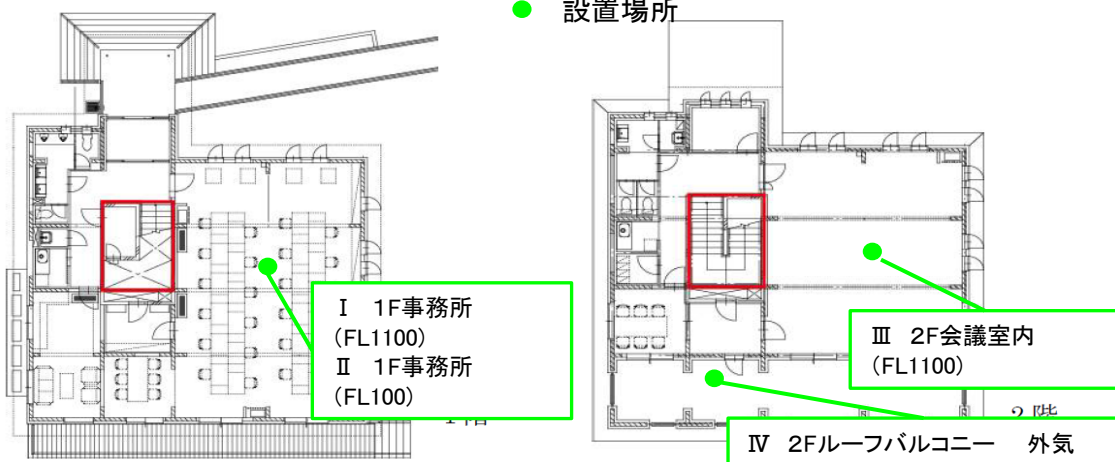


・測定機械

(株)T and D社 おんどとり TR-72nw × 4台 (30分に一回計測)

・測定場所 下図参照

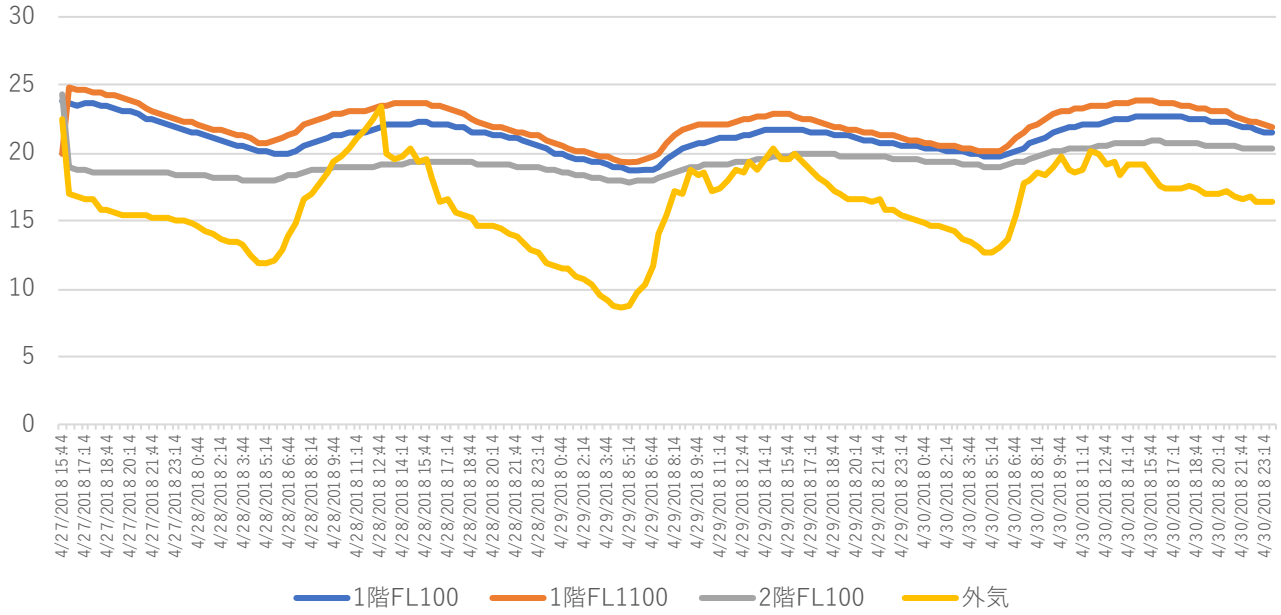
<平面図>



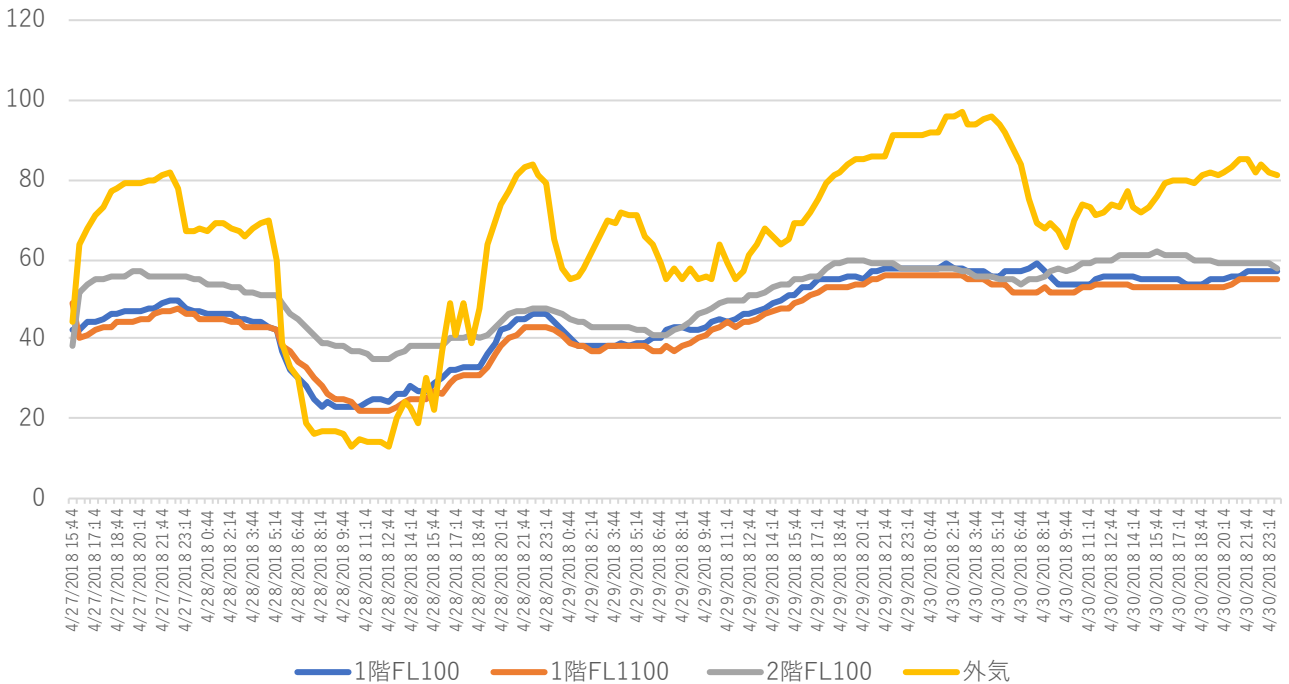
階段室 (赤線で囲んだ部分) をRC造とし、その他をCLTによる木造とした平面混構造で計画

CLT建築物の温湿度長期測定（2018年度から継続）

温度変化180427-0430



湿度変化180427-0430



CLT建築物の温湿度長期測定（2018年度から継続）

湿度外気と1F100-1F1000-2F100との関係

